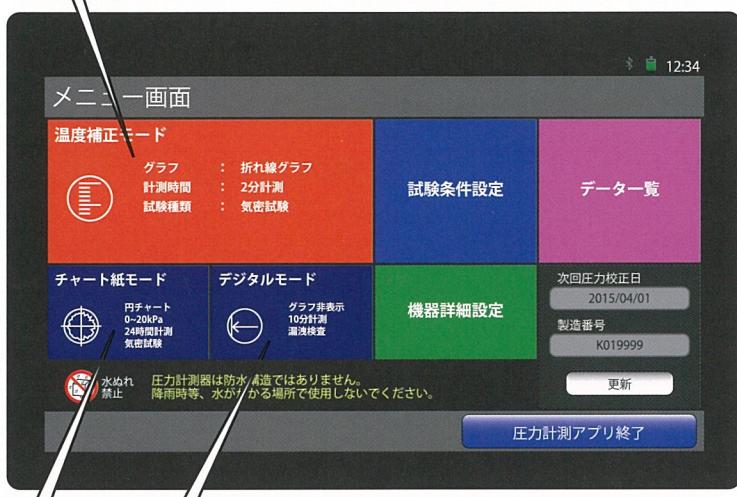


簡単操作のメニュー画面

よく使う試験条件は
アプリ起動後
ワンタッチで試験開始！！！

毎回、試験条件を設定する必要はありません。

条件 1



条件 2

条件 3

メニュー画面の仕様

前回試験条件1~3	前回実施した試験条件を最大3件表示 ワンタッチで試験を開始
試験条件設定	計測モード選択後、試験条件を設定して試験を開始 チャート紙モード／デジタルモード／温度補正モード／長時間計測／現在の圧力計測／複数箇所計測の選択
データ一覧	400件の試験データ一覧／個別の試験結果表示／PC送信／メール送信
機器詳細設定	ゼロ点基準値調整／試験機能設定／機器登録／製品情報／アドレス登録／パスワード設定
その他の表示	次回圧力校正日／製造番号の表示

計測モードの仕様

チャート紙モード	気密試験／漏洩検査の選択 0~5kPa／0~20kPaの選択 2分／5分／10分／24分／1時間／1.5時間／4時間／24時間計測の選択 工事件名／開始圧力／終了圧力／差圧の入力
デジタルモード	気密試験／漏洩検査の選択 2分／5分／10分計測の選択 グラフ表示／グラフ非表示の選択 工事件名の入力／開始圧力／差圧の表示
温度補正モード	気密試験／漏洩検査の選択 2分／5分計測の選択 工事件名の入力／開始圧力／温度補正後の差圧の表示
長時間計測	円チャート表示：4時間表示／24時間表示の選択 0~5kPa／0~20kPaの選択 折線グラフ表示：1~59分／1~23時間／1~7日計測の選択 工事件名の入力／開始圧力／終了圧力／差圧の表示
現在の圧力計測	圧力計測値を1点記録
複数箇所計測	最大5台の圧力計測器で同時に計測 チャート紙モード／デジタルモード／長時間計測の選択

温度補正モードで夕方の温度が低下する時間帯の検査が可能になりました。

- ・圧力計測は温度の影響を受けます。エイムテックが開発した温度補正技術により、24時間、いつでも圧力計測が可能になりました。(圧力10kPa、配管容積50㍑まで)
- ・セーバープロの温度補正機能は**2012年度、日本ガス協会 技術賞**受賞技術です。



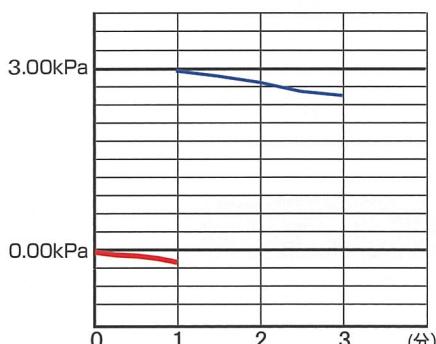
温度補正の必要性

従来の試験方法で圧力低下があっても温度による低下なのか、漏洩による低下なのか判断を迷っていました。

- 夕方気温が下がりそれに合わせて計測圧力も下がる為、
気密試験・漏洩検査の判断が難しい
- 午前中など、気温は上昇しているように感じるが、計測圧力は上がらない。
漏れているかもしれない。

【セーバープロの原理】

セーバープロはボイルシャルルの法則に基づいたまったく新しい方法で温度補正を可能にしました。



その理由は、物理的な現象として
温度が1°C変われば
圧力も0.37kPa変わるからです。

セーバープロの目盛 0.01kPa = 水柱マノメーター約1mmH₂Oは、約0.03°Cの温度変化で影響を受けるほど微妙なのです。

【温度補正のメカニズム】

気密試験前の配管の圧力(大気圧状態)を計測することにより、温度補正を行います。

このグラフは、圧力低下の状況を示した計測例です。従来は青部分の気密試験による圧力低下のみで漏洩判断をしていました。

セーバープロのメカニズムでは赤部分の配管全体が受けている温度影響を計測し、気密試験の結果と比較して自動判定します。このグラフは、漏洩なしと判定します。